

こんにちは 牛越です

【第168回】

さあ、9月



大町市長
牛越 徹

猛暑の夏も盛りが過ぎ、稲穂も深くこうべを垂れるようになりしました。この夏は、お盆休み前から、市内の観光地に多くの観光客が訪れ、大いににぎわいました。

また、先月1日には、第109回信濃木崎夏期大学が開講し、国際政治や天文学、気候危機など6日間の各講座には、合わせて1039人もの聴講生が参加し、湖畔を渡る爽やかな風の中、熱心に耳を傾けていました。私も仕事の合間を縫い、2日間、拝聴いたしました。

3日には、夏の風物詩大町やまびこまつりが、中央通りを歩行者天国にして開催されました。午後3時から、特設ステージで市内小中学校の金管バンドや和太鼓、合唱団の演奏、ヒップホップやジャズダンスの踊りが披露され、通りでは書道パフォーマンス、和太鼓や吹奏楽、シンセサイザーの演奏など、多彩なイベントが繰り広げられました。

今年は商店街連合会主催のゆかたまつりと同時開催で、商工会議所青年部祭など多くの団体の参加もあり、焼きそばや輪投げなど、多くのブースに人

だかりができました。こうした大きな盛り上がりが、市内の元気回復の手掛かりとなることを期待いたします。

いよいよ今月13日には、北アルプス国際芸術祭が開幕を迎えます。インフォメーションセンターは、先月3日、信濃大町駅前に開所し、さっそく芸術祭の広報・案内とともに、鑑賞パスポートや公式ガイドブック、公式グッズなどの販売を始めました。会期中は芸術祭の運営拠点となります。このほか会期中には、美麻ぼかぼかランドと常盤ええっこの里にもインフォメーションセンターが開設されます。

また、アーティストによる作品制作も最終段階に入り、先月4日、八坂地区では、ヨウ・ウェンフーさんの「風の波」が完成し、作家とともに制作にサポーターとして参加された、地域の皆さんを招いて、内覧会が開かれました。

市内外からいっそう多くのお客様をお迎えするため、他のサイトでも作品の完成を目指して作業が続きます。市民の皆様には制作段階でも芸術祭にご参加いただければ幸いです。